

道教關係著書論文目錄

2023（令和5）年

池平紀子・范倩彤・角田志穂 編

前 言

1. 本目錄には、2023年1月から12月までの期間に我國で刊行された、道教及びその周邊領域に關する著書・論文・書評等を收める。
2. 雜誌等に掲載された譯注類は「II.論文」に、學會報告等については「III.書評等」に、それぞれ收める。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とする。執筆者名がアルファベット表記の場合は、I・II・IIIそれぞれにおいて漢字假名表記による執筆者を載せた後にアルファベット順に記す。複数名による執筆の場合は、第一執筆者に準據する。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一する。
4. 連名による「譯注」等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ「譯注」と記す。
5. 本誌の過年號「目錄」で掲載されたことのある執筆者の場合は、対象領域が些か外れていても敢えて掲載する場合がある。
6. 十分に注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お気づきの點をご教示頂ければ幸いである。

I. 單行本

青山優太郎	琉球諸島の歴史人類學：信仰と習俗の民族誌 六一書房
池上 正治	龍の世界 講談社
稻田奈津子〔編著〕	黃泉の國との契約書：東アジアの買地券 勉誠出版
王 海燕	
榊 佳子	
井上 圓了	妖怪學とは何か：井上圓了精選 講談社
菊地 章太〔編・解説〕	
シャルロット・フォン・ ヴェアシュア	モノと權威の東アジア交流史：鑑真から清盛まで 勉誠出版
梅田 千尋	近世陰陽道組織の研究 オンデマンド版 吉川弘文館

- 王 中江
馬場 公彦 [監譯]
葛 奇蹊 [譯]
佐藤 由隆
大谷 亨
影山 純夫
片淵美穂子
- 向 靜靜
國立歷史民俗博物館[編]
- 小曾戸 洋
小林 春樹 [編著]
進藤 英幸
高橋あやの
田中 良明
中村 聰
中村 士
濱 久雄
細井 浩志
山下 克明
吉村 美香 [編著]
小南 一郎 [著]
大形 徹
山下 克明
上野 勝之
平林 章仁
豊田 裕章
奈良場 勝
山里 純一
鹽月 亮子
中町 泰子
- 埼玉工業大學先端科學
研究所科學と佛教思想
研究センター
齋藤 英喜
宮本袈婆雄
高橋 文治
- 武田 時昌 [責任編集]
平岡 隆二
永塚 憲治 [編]
- 自然と人：近代中國における二つの思想の系譜の探究
三元社
- 中國の死神 青弓社
仙人ワンダーランド：和漢仙人列傳 河原書店
氣ながれる身體の考古學：近世日本における養生 晃洋
書房
醫學と儒學：近世東アジアの醫の交流 人文書院
陰陽師とは何者か：うらない、まじない、こよみをつく
る 小さ子社
中國傳統醫學名醫・名著小百科 大修館書店
『天文要録』の考察 [四] 大東文化大學東洋研究所
- 巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究
志學社
- 科學と佛教思想：2022 宮澤正順先生頌壽記念論集 埼
玉工業大學先端科學研究所科學と佛教思想研究センター
- 陰陽師たちの日本史 KADOKAWA
天狗と修驗者：山嶽信仰とその周邊 法藏館
歴史と文學のはざままで：唐代傳奇の實像を求めて 東方
書店
養生思想Ⅱ 房中術 『素女妙論』 臨川書店

- 田中 文雄 [編]
 田仲 一成
 田中 貴子
 塘 耕次
 鄭 傳寅
 朱 虹 [譯]
 中林 史郎 [譯]
 奈良縣立萬葉文化館[編]
 東アジア美術史研究班[編]
- 町田 隆吉
 三浦 國雄
 水野 正好
 毛利 美穗
 山里 純一 [校注]
 赤嶺 政信
 上原 孝三
 平良 勝保
 波照間永吉
 山下 久夫 [編]
 齋藤 英喜
 『山田慶兒著作集』
 編集委員會
 吉川 忠夫
 若狹路文化研究所 [編]
- 冥府考：死者の世界 ノンブル社
 東アジア祭祀藝能比較論 知泉書館
 安倍晴明の一千年：「晴明現象」を読む 法藏館
 中井履軒『周易逢原』と朱子『周易本義』 汲古書院
 古典戯曲と東方文化 京都大學學術出版會
 完譯華陽國志 志學社
 『萬葉集』と道教・佛教・醫學：超越的存在への憧憬と
 苦からの解放 奈良縣立萬葉文化館
 〈道〉研究論集：私立大學研究ブランディング事業「漢學・
 書道の學際的研究據點の形成による『東洋人の“道”』
 研究教育の推進 大東文化大學人文科學研究所
 出土文獻からみた魏晉・五胡十六國時代の河西 論創社
 風水講義 法藏館
 まじなひの研究：考古資料と古記録・呪法書 高志書院
 日本書紀の知と道教醫療思想 萬葉書房
 琉球民俗關係資料4：『四本堂家禮』『御嶽由來記』『雍正
 舊記』『宮古島記事仕次』ゆまに書房
 平田篤胤狂信から共振へ 法藏館
 山田慶兒著作集 第四卷 中國醫學思想 I 臨川書店
 讀書漫筆 法藏館
 『加茂神社宮司谷川左近家文書』土御門家陰陽道の歴史：
 名田庄・納田終の地にて（文化財調査報告書；2022年
 度） おおい町教育委員會

II. 論文

- 青山優太郎
 常 芬
 淺野 裕一
- 琉球群島清明祭與中國清明節的比較研究：明清時期祖先
 祭祀的預備考察 『日中文化學報』 4
 『莊子』天下篇の道術王朝：內聖外王の道 『東洋古典學
 研究』 56

- 浅野 春二 天に昇るための切符：道教の死者救済儀禮における「昇天券」をめぐって 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 朝山 明彦 明代中期の關羽信仰：官僚呂杲の記録を中心に 『東方宗教』 141
- 吾妻 重二 日本における『家禮』式儒墓について：東アジア文化交渉の視點から (4) 『關西大學東西學術研究所紀要』 56
- 吾妻 重二 馬鬣封について：儒式墓の一例 『東アジアの思想・藝術と文化交渉』 13
- 荒見 泰史 敦煌文獻より見る九、十世紀中國の女性と信仰 『アジア遊學』 290
- 有澤 晶子 屠隆『修文記』における三教意識の歪み 『文學論藻』 97
- 有馬 卓也 豫防醫學から年中行事へ：『淮南萬畢術』をめぐって 『九州中國學會報』 61
- 池内早紀子 『五輪碎并病形』にみる醫學思想史の一斷面 『東方宗教』 142
- 池内早紀子 [譯注] 『急救仙方』卷之十、卷之十一譯注稿 (2) 『人文學論集』 41
- 島山奈緒子
- 山本優紀子
- 池上 英洋 中國の鍊丹術 『鍊金術の歴史：祕めたるわざの思想と圖像』第1章4 創元社
- 石橋 直樹 看取され逃れ去る「神代」：平田篤胤の世界記述を読む 『現代思想』 51 (16)
- 伊藤 聰 「神道の中世」から「神道の近代」へ 『アジア遊學』 281
- 伊藤 聰 平田篤胤のなかの中世神道 『現代思想』 51 (16)
- 伊藤 好英 折口信夫の琉球巫女論 『アジア遊學』 290
- 今井 秀和 虚と實の垣根を揺らす魔法の書 (グリモワール)：『仙境異聞』と江戸文藝 『現代思想』 51 (16)
- 今井 秀和 近世知識人の怪異認識と平田篤胤：「天狗」理解をめぐって 『平田篤胤狂信から共振へ』第4章 法藏館
- 今井 秀和 空海と妖怪：弘法大師傳承の一側面 『蓮花寺佛教研究所紀要』 16

- 彌永 信美 〈偽-密教／神道儀軌〉の作者としての平田篤胤：『密法修事部類稿』末尾の「久延彦行法」について 『現代思想』 51 (16)
- 彌永 信美 平田篤胤と雑密儀禮學：『密法修事部類稿』の豫備的考察 『蓮花寺佛教研究所紀要』 16
- 上野 勝之 日本古代の憑依託宣とト占 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 浦山 きか 『黄帝内經素問』における醫師の行動規範と心得 横手裕編 『アジアの傳統醫學における醫療・醫學の倫理と行動規範、及びその思想史的研究』
- 王 芝鶴 中國古代墳墓の立地における風水思想に關する研究史的考察：秦漢魏晉南北朝を中心にして 『文化共生學研究』 22
- 大形 徹 巫・靈・豎・筮 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 大形 徹 漢字文化圏の疾病觀 『古代文化』 75 (2)
- 大西 和彦 ベトナムの妖鷄 小峯和明 [編] 『日本と東アジアの〈環境文學〉』 第2章 勉誠社
- 岡本 佳子 岡倉覺三が描く「道教」：『茶の本』と20世紀轉換期の寓話 『東洋研究』 230
- 岡 美治 與世永家文書『風水書』鐫刻・譯注 (3) 『久米島博物館紀要』 23
- 小川 豊生 篤胤のなかの中世：〈一神〉論の系譜をめぐって 『現代思想』 51 (16)
- 尾崎 勤 『封神演義』の改作について 『日本中國學會報』 75
- 賈 光佐 獨立性易の三教一致論批判について 『印度學佛教學研究』 71 (2)
- 夏 雨 『五部六冊』の再検討：羅教の傳説形成の視點から 『明海大學外國語學部論集』 35
- 郭 志成 中江兆民の哲學思想における莊子の影響：その死生觀を例として 『日本言語文化研究』 9
- 陳 訪澤 比較哲學による古典學の新展開：徐希定『「莊子・齊物論」研究：以『我』與『物』的關係爲中心』 『日中文化學報』 4
- 賈 光佐 橘と枳の相違 (下) 『洞天福地研究』 11
- 葛 兆光

- 川野 明正 石造狛犬の類型と分布に關する野外調査を主とした網羅的研究：岩手縣の石造狛犬を事例として 『明治大學人文科學研究所紀要』 90
- 川野 明正 スフィンクスと人面狛犬のユーラシア：ギリシャから仙臺・花巻まで（上）：地中海・中近東からインド・東南アジア・中國・シナ海 『明治大學教養論集』 570
- 川野 明正 中國南部の道標「擋箭碑」と「將軍箭」の產育信仰 『明治大學教養論集』 573
- 菊地 章太 祇園精舍無常院：傳承の系譜と傳播の軌跡 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 許 曉璐 『列仙傳』の尸解仙について：尸解概念の史的展開 『學林』 77
- 金 兌垠 『東醫寶鑑』の醫學思想と宗教的倫理性：中韓醫學の人體原理と宗教的理想との關係について 横手裕編 『アジアの傳統醫學における醫療・醫學の倫理と行動規範、及びその思想史的研究』
- グエン・ティ・オワイン 前近代ベトナムの諸史料や文學資料から見た疫病神信仰 小峯和明〔編〕『日本と東アジアの〈環境文學〉』第2章 勉誠社
- 工藤 卓司 『賈誼新書』「徳の六理」説とその政治思想上の意義 『中國思想史研究』 44
- 栗田 英彦 異界としての皇國：平田篤胤の身體技法論と「多孔的な自己」の近代 『現代思想』 51 (16)
- ケイ 光大 聖なる堆積：中國廣東省梅州市の香花派におけるモノとモノの連關 『文化人類學』 88 (3)
- 孔 詩 江南佛教總攝楊璉真伽の道教に對する彈壓とその影響 『東方宗教』 142
- 高 夢雨 古代日中の嘗祭：天子宗廟祭祀と大嘗祭の祭儀比較 『國學院雜誌』 124 (1)
- 古勝 隆一 『講周易疏論家義記』に見える「義家」について 『日本中國學會報』 75
- 古勝 亮 藥山系禪師の自己認識とその背景：本來性としての自己をなぜ「渠」と呼ぶのか 『中國初期禪思想の形成』第5章 法藏館

- 辜承 堯 「兎に角儒者に碌な奴は無し」：青木正兒の儒家批判・道家稱賛論 『風雅孤高の文藝者：青木正兒の構築した中國學の世界』第2章 東方書店
- 小谷 友也 光緒十年怡怡堂刊『關帝明聖真經』と齊有堂「靈驗記」について 『汲古』 84
- 佐々木 聰 近世琉球における媽祖祭祀の政治性：東アジア「海域世界」の變貌と冊封・進貢をめぐる一連の實踐をめぐって 『京都文教大學総合社會學部研究紀要』 24
- 小林 康正 六地藏寺善本叢刊「老子經上下」「長恨歌并序」『小林芳規著作集 第四卷』 汲古書院
- 小松徳太郎 老子道德經の個人的解釋：現代からの光が結ぶ幻像 『日本大學醫學部一般教育研究紀要』 51
- 小南 一郎 殷墟卜辭と商の王權 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 小南 一郎 宋遼金元代の壁畫墓と二十四孝說話の形成（下）『泉屋博古館紀要』 39
- 小武海櫻子 明清時代の中國民衆宗教と寶卷 成蹊大學文學部學會〔編〕『歴史の蹊、史料の杜：史資料體驗が開く日本史・世界史の扉』 風間書房
- 齋藤 英喜 異貌の平田篤胤：近世神話・異端神道・ファシズム 『現代思想』 51 (16)
- 齋藤 英喜 神仙・調息・ファシズム：平田篤胤と近代異端神道をめぐって 『平田篤胤狂信から共振へ』第12章 法藏館
- 佐々木 聰 初期道教經典に見える鬼神觀再考：〈發病占〉と曆日の冥官の關係に着目して 『東方宗教』 141
- 佐々木 聰 從術數文獻來看的寫本文化與博物學：以天文五行占書《禮緯含文嘉》爲中心 『金澤學院大學紀要』 21
- 佐々木 聰 ベトナムにおける天文五行占書の受容と流布について 水口幹記編『東アジアの世界分析の方法：〈術數文化〉の可能性』 文學通信
- 佐々木 聰 光緒丁酉年郭洪興抄發病占書とその占辭に見える鬼神 『古代文化』 75 (2)
- 佐藤 厚 朝鮮における『天地八陽神呪經』の位相：朝鮮時代から現在まで 『東方宗教』 141
- 佐藤 真人 人を神に祀る神社の起源：香椎宮を中心として 『アジア遊學』 287

- 澤井 眞代 馬淵東一のオナリ神研究：オナリ神と二つの出会い 『アジア遊學』 290
- 澤崎 久和 唐代小説「封陟」と「任生」 『國學院雜誌』 124 (7)
- 鹽月 亮子 沖繩シャーマニズムにおける巫術・占術の變容と展開
『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的
研究』 志學社
- 司 志武 識緯思想からみる水の怪異と王權：水精怪異譚考 小峯
和明〔編〕『日本と東アジアの〈環境文學〉』第2章
勉誠社
- 品田 泰峻 冥婚：青森縣津輕地方に見られる死者供養としての「冥
福の結婚」 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 史 冰容 中古佛道論爭中的“聖智”觀念 『グローバル地域研究』
3
- 澁谷 鎮明 現代韓國における風水地理思想に關する學術的評價：地
理學分野の業績を中心として 『貿易風：中部大學國
際關係學部論集』 18
- 島蘭 進 折口信夫の平田篤胤評と明治後期以降の神道界 『現代
思想』 51 (16)
- 周 星 三つの崑崙山と中國「大風水」 『文明21』 50
- 白山友里恵 病因として機能する「蟲」と風：『諸病源候論』を手掛
かりに 『古代文化』 75 (2)
- 辛 賢 『易學啓蒙』 試論：明著策を中心に 『大阪大學大學院文
學研究科紀要』 63
- 鈴置 拓也 井上哲次郎「支那哲學史」に見る中國哲學研究の方法と
その意義：老子・莊子を例として 『日本中國學會報』
75
- 鈴木 景二 藤原京・平城京と宗教施設 『アジア遊學』 280
- 鈴木 正崇 修驗道の近代：日本型ファシズムと修驗道研究 『アジ
ア遊學』 281
- 鈴木 一馨 沖繩の自治體史・字誌における風水の記述 『文化財學
雜誌』 19
- 曾布川 寛 三星堆祭祀坑の縱目銅人面具と金杖：まえがきに代えて
曾布川寛・宇佐美文理〔編〕『中國美術史の眺望：中
國美術研究會論集』 汲古書院
- 孫 瑾 宋代道人の房中術實踐と民間醫療の關係試論 『古代文化』
75 (2)

- 大東 敬明 『神道沿革史論』以前の清原貞雄：外來信仰と神道史 『アジア遊學』 281
- 竹宮 英朗 『説文解字』に見られる病名と疾病観 『日中言語文化』 16
- 田尻 健太 崔靈恩の『三禮義宗』：鄭玄注から南北朝經學へ 『中國思想史研究』 44
- 多田 伊織 淡と痰と澹：古代インド醫學と中國醫學の交渉 『古代文化』 75 (2)
- 舘 健一 「羅生門」に鬼はない：「羅生門」の猿と陰陽五行説 『國學院雜誌』 124 (7)
- 舘野 正美 The I Ching 易經 and Medicine: Yiyi tongyuan 醫易同源：from the viewpoint of the philosophy of medicine 『中國語中國文化』 20
- 舘野 正美 日本漢方醫學における吐方について：江戸時代醫學の一樣相 『立命館アジア・日本研究學術年報』 4
- 舘野 正美 An Ontic Turn in the Tao Te Ching 『日本大學人文科學研究所研究紀要』 106
- 田中 俊明 朝鮮三國の國家祭祀 『アジア遊學』 280
- 田中 文雄 泰山考 『豐山學報』 66
- 田中 文雄 冥府の審判：佛教と道教の十王信仰と儀禮 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 田中 文雄 死者の歸宅日：中元・盂蘭盆の信仰と習俗 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 趙 超敏 『老子經抄』と德倉昌堅 『東洋古典學研究』 56
- 張 凱 媽祖と觀音の諸類型 『佛教學研究』 79
- 趙 小菁 『うつほ物語』 「内侍のかみ」巻と神仙譚：御前彈琴の場面と「漢武帝内傳」の比較から 『平安朝文學研究』 31
- 趙 靜怡 日中兩國の七夕に關する民間傳説の比較：民俗學的視點から 『日中文化學報』 4
- 張 名揚 隋唐期道教祭醮と密教星供の供物 『實踐女子大學文藝資料研究所 年報』 42
- チョン・ミン 許筠の『東國名山洞天註解記』と道教文化史的意味 『洞天福地研究』 11
- 佐藤 厚〔譯〕 中國民間宗教と器物：清代の江南齋教と經典、印章、教單 『一橋社會科學』 15
- 陳 明華
- 佐藤 仁史〔譯〕

津金 滯乃	昔話「天人女房」の傳承と變遷 『國學院雜誌』 124 (10)
土屋 昌明	洞天福地と冥府に關する覺書 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
程 曉文	逸脱した鑑賞者と性別化された見ること：宋代民間宗教 における像との性的交流と視覺文化 宋代史研究會〔編〕
梅村 尚樹〔譯〕	『宋元明士大夫と文化變容』 汲古書院
鄭 振鐸	寶卷 『中國俗文學史（東方學術翻譯叢書）』第11章 東 方書店
松家 裕子〔譯・解説〕	古典戲曲と東方宗教 『古典戲曲と東方文化』下編 京 都大學學術出版會
鄭 傳寅	韓國の風水思想と説話 小峯和明〔編〕『日本と東アジ アの〈環境文學〉』第4章 勉誠社
朱 虹〔譯〕	目錄と秦漢病方の編纂 『古代文化』 75 (2)
鄭 炳説	厲祭の淫祠化について：儒教的視點からの一考察 『古 代文化』 75 (2)
田 天	「桃花源記」中の理想郷の所在：洞天思想との結びつき 『學 林』 76
董 伊莎	中江藤樹著『鑑草』の流通と影響：中國善書の媒介とし て 『比較文化研究』 153
唐 鈺	富岡鐵齋筆「老子出關圖」について 『大和文華』 143
董 航	法琳の事跡にみる唐初の佛教・道教と國家 『文物に現 れた北朝隋唐の佛教』第2章 法藏館
都甲さやか	臺灣南部臺南地域の道士が行う關燈について：プログラ ム上の位置からの検討 『國學院中國學會報』 69
礪波 護	喪葬儀禮における道士の關與について：臺南地域を例と して 『儀禮文化學會紀要：儀禮文化』 11
富田 綾美	日本中世初期の都市構造と氣脉や地勢を重視する風水思 想との關わり：平清盛の福原・源氏將軍の大倉御所・ 後鳥羽院の水無瀬離宮 『巫・占の異相：東アジアに おける巫・占術の多角的研究』 志學社
富田 綾美	華北の墓地風水 『中國農村の生活世界』第5章2 風響 社
豐田 裕章	新出の曲直瀬流の養生書『攝生之常鑑』について 『東 方宗教』 141
中生 勝美	『艷本房術龍之卷』について：『素女妙論』の江戸中後期 の流通と受容について 『醫譚』 118
永塚 憲治	
永塚 憲治	

- 永原 順子 水難怪異傳承の比較研究：東南アジアでの調査から 『古代文化』 75 (2)
- 中町 泰子 横濱中華街における古い店舗の集積と占いの受容 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 中村 春作 實學と風水：蔡溫を中心に 『東洋古典學研究』 55
- 中村 未來 清華簡『心是謂中』の文獻的特質について 『中國研究集刊』 69
- 中山 紀子 佐伯藩内における媽祖信仰の受容：大分市伊東家傳來天妃像の傳承を中心に 『京都文教大學總合社會學部研究紀要』 24
- 奈良場 勝 大雜書の易をめぐる書林の動き 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 新見まどか 燕・趙兩政權と佛教・道教 『アジア遊學』 291
- 二階堂善弘 大連金州道觀の五大仙 『東アジアの思想・藝術と文化交渉』 13
- 二階堂善弘 『封神演義』の元帥神 『東アジア文化交渉研究』 16
- 西本 昌弘 東アジアの祭天と日本古代の祭天 『アジア遊學』 280
- 馬場眞理子 近世的曆占の形成：兵法書と『簠簋内傳』にみる曆占の論理 『宗教研究』 97 (3)
- 速川 治郎 ハイデッガーと西田哲學とのピュシス（ヒュシス）『學術論：ハイデッガーとギュンターを軸にした轉問』 北樹出版
- 林 佳恵 古靈寶經に於ける『法輪罪福』の位置附け：陸修靜による靈寶經典分類の再考 『東洋の思想と宗教』 40
- 春本 秀雄 北魏廢佛研究について：CNKI の論文を踏まえて 『大正大學研究紀要』 108
- 日比野晉也 牛道淳の内丹説について 『東アジア文化交渉研究』 14
- 日比野晉也 王道淵の内丹説 『東アジア文化交渉研究』 16
- 平川 南 古代人の開發と死への恐れ・祈り：古代韓國と日本の出土資料と道教思想から 春成秀爾 [編] 『何が歴史を動かしたのか 第3巻：古墳・モニュメントと歴史考古學』 雄山閣
- 平林 章仁 祈狩考：古代日本の占いと動物 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 廣瀬 直記 「茅君内傳」譯注研究（三）『洞天福地研究』 11

- 廣田 律子 ミエン・ヤオの歌文化の研究 (2)『大歌書』に見える諸王『麒麟』 32
- 廣田 律子 儀禮における資料と方法試論：ミエン・ヤオ研究を事例として『歴史と民俗：神奈川大學日本常民文化研究所論集』 40
- 付 曉靈 『風流志道軒傳』における仙人傳記の利用『國語國文』 92 (3)
- 付 曉靈 『風流志道軒傳』における仙境描寫：異郷訪問譚の系譜を視座として『京都大學國文學論叢』 49
- 武 茜 『續齊諧記』における「戀情」：神女說話の韻文を絲口に『日本中國學會報』 75
- 福原 敏男 修正會の亂聲と鬼走り：大和と伊賀のダダをめぐって『アジア遊學』 287
- 藤田 明良 海を渡る女神たち：媽祖・觀音・船玉神『K』 5
- 藤田 祐俊 修驗道にみる死者の世界：出羽三山における死者の世界『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
- 船山 徹 ハンムラビ法典「目には目を」の是非：儒教・道教・キリスト教『梵網經の教え：今こそ活かす梵網戒』第3章第3節 臨川書店
- 古松 崇志 金國の祭天儀禮：拜天と郊祀をめぐって『東洋史研究』 82 (3)
- 古松 崇志 契丹の祭山儀をめぐって：遊牧王朝における男女共同の天地祭祀『アジア遊學』 283
- 方 立天 中國の儒家・道家・玄學家の言語觀の概略『中國佛教哲學要義』第31章 第2節 大藏出版
- 菅野 博史 [監譯]
- 張 文良
- 方 立天 中國佛教の本體論形成における中國思想的背景『中國佛教哲學要義』第25章 第2節 大藏出版
- 菅野 博史 [監譯]
- 張 文良
- 方 立天 道・佛の心性思想の相互作用『中國佛教哲學要義』第22章 大藏出版
- 菅野 博史 [監譯]
- 張 文良
- 保莉 佳昭 蘇軾の詞と『莊子』：特に「肌膚若冰雪」の表現を中心として『日本大學商學部 総合文化研究』 29 (2)

星野 靖隆	吉川靈華《太上老君》について 『北海道立美術館・藝術館紀要』 32
細井 浩志	法師陰陽師の實態とその歴史的 성격について 『史學研究』 315
増田 友哉	平田篤胤におけるウブスナ神の役割の創造：篤胤のコスモロジーにおけるウブスナ神の位置をめぐる 『宗教研究』 97 (1)
松本 浩一	宋代の鍊度と知識人 『東方宗教』 142
溝部 良恵	張騫『朝野僉載』について 『中國研究』 16
嶺 秀樹	ハイデガーと老子 『絶対無の思索へ：コンテクストの中の西田・田邊哲學』 補論2 第2節 法政大學出版局
宮川 康子	『出定笑語』と『出定後語』 『現代思想』 51 (16)
宮澤 正順	陶弘景と慧思の内丹外丹に就いて 『蓮花寺佛教研究所紀要』 16
宮澤 正順	王日休と王氏神仙傳について (後半) 『佛教文化研究』 67
六車 楓	清華簡『五紀』に見える身體と病氣の記述について 『古代文化』 75 (2)
六車 楓	清華簡『五紀』の身體觀：第一八部分を中心に 『中國研究集刊』 69
村元 健一	中國 南北朝時代の王朝祭祀と都城 『アジア遊學』 280
森 瑞枝	史學から神祕學へ：『赤縣太古傳』 私論 『現代思想』 51 (16)
森 瑞枝	冥途の生：修羅能の幽靈 『冥府考：死者の世界』 ノンブル社
森 瑞枝	「玄學」という名付け：ユニバーサルとパーソナル 『平田篤胤狂信から共振へ』 第6章 法藏館
森 由利亞	関一得『呂祖師三尼醫世說述』の形成：湖州周邊の呂祖扶乩信仰を利用した「龍門正宗」正統化 『早稲田大學大学院文學研究科紀要』 68
山里 純一	琉球の『觀音靈籤』 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
山下 克明	陰陽道の祭祀、百怪祭をめぐる 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社

- 山下 久夫 近世の神話知と本田親徳：親徳による篤胤批判の意味
『アジア遊學』 281
- 山下 久夫 宣長・秋成・そして篤胤：「復古」の構圖をめぐる問題 『現代思想』 51 (16)
- 山田 俊 宋人所見道教文獻の研究：南宋・羅泌『路史』を例に 『熊本縣立大學大學院文學研究科論集』 16
- 山田 俊 多源・多面・多元的道家道教文化：蕭萐父氏と道家道教思想文化研究 『熊本縣立大學共通教育センター紀要』 2
- 山本 英史 溺女の祟り：清代溺嬰應報説話の類型と考察 『史學』 92 (1・2)
- 山本 堯 玲瓏山館叢刻本『稽瑞』 讎刻・校注 (2) 猛獸・麒麟・平露・屈軼・鳳凰・白澤・烏車 『泉屋博古館紀要』 39
- 山本 陽子 長嶽寺藏六道十王圖に天道は聖かれていないのか 『物語る佛教繪畫：童子・死・聖地』 第2部7 勉誠社
- 山本 陽子 中國の靈山信仰から日本へ・觀音と靈地信仰 『物語る佛教繪畫：童子・死・聖地』 第3部 勉誠社
- 楊 靜芳 中國福建省の民間信仰の神々と疫病退散の傳説 『學藝國語國文學』 55
- 横手 裕 明末清初の三教と醫學と倫理：西昌居士喻昌を中心に 横手裕編 『アジアの傳統醫學における醫療・醫學の倫理と行動規範、及びその思想史的研究』
- 横山 愼悟 戰國期楚地の信仰から見る「天人の分」思想の展開について 『九州中國學會報』 61
- 吉岡 佑馬 敦煌遺書佚名『老子道德經義疏』 初探：華嚴教學の影響および成立背景の検討 『日本中國學會報』 75
- 吉岡 佑馬 『講周易疏論家義記』 初探：體用・境智および感應思想の検討 『九州中國學會報』 61
- 吉岡 佑馬 敦煌遺書佚名『老子道德經義疏』 初探：華嚴教學の影響および成立背景の検討 『日本中國學會報』 75
- 吉田 篤志 孔子の道と老子の道：「道」の文字學的考察に及ぶ 『大東文化大學漢學會誌』 62

- 吉村 美香 東アジア三國における『靈棋經』の存在様相 『巫・占の異相：東アジアにおける巫・占術の多角的研究』 志學社
- 頼 永海 印度佛教の中國化と儒・釋・道の三教歸一 『中國佛性論』 第9章 第3節 法藏館
- 何 燕生 [譯] 元政上人の孝悌觀と儒佛一致思想：『扶桑隱逸傳』における孝行言説を中心に 『アジア遊學』 288
- 陸 晚霞 横濱における媽祖信仰の研究：横濱媽祖廟を中心に 『歴史民俗資料學研究』 28
- 劉 帥 中國における信仰と思想（抄譯）第三章 儒佛道の過去と未來 『名古屋大學中國語學文學論集』 37
- 樓 宇烈
李 海
田村 祐之 [譯]
田村加代子 [校譯]
- 脇山 豪 全眞道士姫志眞著『知常先生雲山集』について 『東方宗教』 141
- 渡邊 義浩 王者の兵と兵法の理念化：『荀子』議兵篇と『淮南子』兵略訓 『東洋の思想と宗教』 40

Ⅲ. 書評等

- 池内早紀子 林一烏『腫病應用之論』について（日本醫史學會關西支部二〇二二年秋季學術集會抄録）『醫譚』 117
- 山本優紀子 書評 太田出『關羽と靈異傳說：清朝期のユーラシア世界と帝國版圖』 『歴史學研究』 1036
- 石野 一晴 普陀山信仰からみた東アジア海域 中西龍也・増田知之 [編著]『よくわかる中國史』 IX 2 ミネルヴァ書房
- 磯部 祐子 資料紹介 「戰瘟神寶卷」を読む 『富山大學人文科學研究』 78
- 大形 徹 特輯に寄せて [特輯 東アジア漢字文化圏の疾病・疫病觀の史的・現代的展開：鬼系病因論の起源と思想的水脈] 『古代文化』 75 (2)
- 大形 徹 書評 草野友子著『中國新出土文獻の思想史的研究：故事・教訓書を中心として』 『立命館アジア・日本研究學術年報』 4

- 大西 和彦 バトナムの傳統宗教・信仰を覆う道教：現實主義のベトナム人／民間信仰：ベトナムの聖母道 岩井美佐紀編『現代ベトナムを知るための63章 第3版』第32章・第36章 明石書店
- 小川 豊生 討議 篤胤はゆれうごく 『現代思想』 51 (16)
- 齋藤 英喜
- 山下 久夫
- 加藤 千恵 コラム ひょうたんの中の天地：古代中國の長生思想と自然觀 小峯和明 [編]『日本と東アジアの〈環境文學〉』第5章 勉誠社
- 上水流久彦 書評と紹介 三尾裕子編著『臺灣で日本人を祀る：鬼（クイ）から神（シン）への現代人類學』『宗教研究』 97 (1)
- 中國紀行CKRM 役小角と道家思想 『中國紀行CKRM』 30
- 編集部 [編]
- 川野 明正 概説 中國南部の道標「擋箭碑」と産育信仰 『日本の石佛』 181
- 北澤 直宏 新宗教：カオダイ・ホアハオ 岩井美佐紀編『現代ベトナムを知るための63章 第3版』第35章 明石書店
- 慶應義塾大學附屬研究所斯道文庫 [編] 書誌 周易參同契通真義／南華經／老子臆注／陰陽文圖說 附文昌帝君陰騭文 『訂正新版 圖說書誌學：古典籍を學ぶ』 勉誠社
- 酒井 規史 書評・新刊紹介 黎志添主編『道藏輯要・提要』『東方宗教』 142
- 佐藤 厚 韓國道教文化學會『道教文化研究』論文目錄譯稿『洞天福地研究』 11
- 重信あゆみ 書評・新刊紹介 李松著／土屋昌明・齋藤龍一監譯／廣瀬直記・熊坂聰美・因幡聰美譯『中國道教美術史 漢魏晉南北朝篇』『東方宗教』 142
- 清水 浩子 書評・新刊紹介 高田宗平著『日本古代の『論語義疏』受容史の研究』『東方宗教』 141
- 辛 賢 書評・新刊紹介 川原秀城著『數と易の中國思想史：術數學とは何か』『東方宗教』 141
- 靜嘉堂文庫美術館 [編] あの世界の探検：地獄の十王勢ぞろい 靜嘉堂文庫美術館

- 高橋あやの 京都大學人文科學研究所所藏『天地瑞祥志』第七龔刻・校注：外官（2）『大東文化大學漢學會誌』 62
- 高橋あやの 『紅樓夢』の數術を取り上げる意義：孫宏安『紅樓夢數術談』『東京紅學レポート』 13
- 高橋 陸美 書評・新刊紹介 堀池信夫著『老子注釋史の研究：櫻邑文稿（1）』『東方宗教』 142
- 高橋あやの コラム 「歩天歌」と中國・朝鮮・日本 『アジア遊學』 278
- 土屋 昌明 書評・新刊紹介 姜生著、三浦國雄譯『道教と科學技術』『東方宗教』 142
- 土屋 昌明 洞天研究事始 三浦國雄先生インタビュー 『洞天福地研究』 11
- 戸倉 英美 シンポジウム報告 中國鬼神論の最前線 『東方學會報』 124
- 中尾 徳仁 國際學界動向 天理大學附屬天理參考館「館藏資料から見る：神仙思想と道教」展報告 『東方宗教』 141
- 山田 明廣 Patrice Fava（パトリス・ファーバー）監督「妙峯山廟會：四百年の歴史」龔譯と解説 『洞天福地研究』 11
- 二ノ宮 聰
- 二村 淳子 書評 陰陽道史研究の會〔編〕『呪術と學術の東アジア：陰陽道研究の繼承と展望』『學鐙』 120（2）
- 馬 冰 書評 吳偉明『和魂漢神：徳川日本における中國民間信仰の在地化』『日本研究』 66
- 林 佳恵 『太上洞玄靈寶眞一勸誡法輪妙經』譯注ノート 『論叢アジアの文化と思想』 31
- 浅野 愛
- 廣瀬 直記 書評・新刊紹介 神塚淑子著『道教思想10講』『東方宗教』 142
- 藤井 律之 唐宋の佛・道教 中西龍也・増田知之〔編著〕『よくわかる中國史』Ⅵ 7 ミネルヴァ書房
- 藤田 明良 海を渡る女神たち：媽祖・觀音・船玉神 『K』 5
- 藤本 幸夫 學問の思い出：藤本幸夫先生を囲んで 『東方學』 145
- 三浦 國雄
- 夫馬 進
- 川原 秀城
- 金 文京

牧野 由佳	コラム 生きている〈妹の力〉(1) 民俗藝能にみる女性の力：朝倉の梯子獅子の御守袋に注目して 『アジア遊學』 290
三鬼 丈知	金丹と陰丹と白い粉（日本醫史學會關西支部二〇二二年秋季學術集會抄録）『醫譚』 117
水口 幹記	コラム 木折れ、屋を發く：災害・災異の表現 小峯和明〔編〕『日本と東アジアの〈環境文學〉』第2章 勉誠社
安田ひろみ	エッセイ 首里天后宮瞥見記：宗教忌避時代の新たな信仰の行方 『京都文教大學総合社會學部研究紀要』 24
山下 清海	宗教：儒教・佛教・道教、三教の混淆 『華僑・華人を知るための52章』第50章 明石書店
楊 琄屹	書評 陳碧霞著『近世琉球の風水と集落景觀』『史泉』 137
由谷 裕哉	書評と紹介 徳永誓子著『憑靈信仰と日本中世社會』『宗教研究』 97 (1)

〔訂正〕

下記2件について誤記がございました。訂正いたしますと共に、関係者の方々にお願い申し上げます（事務局）。

『東方宗教』120「道教關係著書論文目錄2011（平成23）年」4頁

〔誤〕梅川 純代 鄭玄「三禮注」における「氣」字の用法の一側面 集刊東洋學 105

〔正〕浦山 きか 鄭玄「三禮注」における「氣」字の用法の一側面 集刊東洋學 105

『東方宗教』140「道教關係著書論文目錄2021（令和3）年」9頁

〔誤〕朝山 明彦 書評・新刊紹介 太田出著『關羽と靈異傳沒説：清朝期のユーラシア世界と帝國版圖』『東方宗教』137

〔正〕朝山 明彦 書評・新刊紹介 太田出著『關羽と靈異傳説：清朝期のユーラシア世界と帝國版圖』『東方宗教』137